

Luncheon Linguistics, 11/8/2023

2023（令和5）年11月8日

「「内の関係」の連体修飾節の類型論」

発表者：小林颯（東京外国語大学大学院博士前期課程）

本発表では、世界の言語にみられる連体修飾表現を類型論的観点から考察する。その際にはまず Comrie and Kuteva (2013) の類型論的な分類の枠組みを参考にし、『語研論集』の41の言語における3種の連体修飾複文のデータ(内の関係で、被修飾名詞が{(1)主語/(2)目的語/(3)場所}であるもの)の分析を行った。これにより対象言語を、①関係詞優勢のタイプの言語群と②空所一貫型のタイプの言語群に分類した。一方で『語研論集』の別のデータによって、対象言語における他動詞文における無生物主語の許容/非許容を調べた。その結果、連体修飾節のタイプの違いと他動詞文における無生物主語の許容/非許容の違いには相関があることを見出した。さらに連体修飾節のタイプの地理的分布の偏りや、基本語順を中心とした他の類型論的特徴と連体修飾節のタイプとの相関についても指摘を行う。